

# 「人と人をつなぐまち森田」を目指して

～地域活性化の取り組み～

森田公民館

## 1 森田地区の概要

森田地区は、福井市の北部に位置し、坂井市に隣接している。面積は 5.8 平方キロになり、九頭竜川の沿岸に位置している。ここ数年は、90 年代後半から始まった土地区画整理事業も終わり、住宅やアパートが多数建設され、人口増加が著しい地区になっている。そのため、小学生の数も県下一番になり令和 4 年には 2 校化が決まった。



## 2 遺跡発掘がきっかけとなって

区画整理事業に伴って、新田義貞や城主であった義貞の弟の脇屋義助が活躍する石丸城がこの地にあったことが確認されたのを機に、公民館は福井学講座として学習を始めた。

また、石丸城の歴史を子どもたちにも伝えようと、唄歌や、小冊子を作り発表、披露を行った。

結果、住民と福井市の協力の下、遺跡のある場所に令和 2 年「石丸城公園」ができた。

## 3 森田駅の活性化

### (1) 森田地区民に愛される駅を目指し

平成 22 年から「もりた夢駅」と題したイベントを森田のまちづくりを担う文化委員会と仁愛女子短期大学とが共に音楽コンサートや子ども縁日、イルミネーション設置など、華やかな森田駅を演出した。その活動が市を動かす原動力となり、駅舎内にギャ

ラリーが作られたと共に、簡易委託方式により無人化を免れていたが、令和 4 年 4 月からは無人化となってしまった。

### (2) 新たなコミュニティ作り

新幹線開通に伴い森田駅が「ハピライン」に変わるのを良い機会と捉え、駅を拠点とした新たなコミュニティを作ろうと活動。令和 4 年度に駅活用 WS を実施し、同年 11 月と翌 7 月に WS での意見を元に、社会実験「モリスタ」を開催した。

モリスタでは、野菜販売や誰でも気軽に利用できる無人の図書貸出しコーナー(良心図書館)、仁愛短大生のお店、チャレンジショップなどがあり多くの方が足を運んだ。



今後も、WS の意見やモリスタでの実績をもとに駅改修も視野に入れ、誰もが集える森田駅を目指し活動していきます。

## 4 九頭竜川を誇りにしよう

### (1) サクラマスやアラレガコの生態を知ろう

九頭竜川は、サクラマスのブランドリバーと言われる多くの県外釣り客が訪れている。しかし、地区民の認知度は低いので、平成 23 年度～「サクラマスサミット」を開催、サクラマス、アラレガコの生態や食文化を学んだ。また、県外釣り客から毎回袋いっぱいゴミを拾って持ち帰る・・・。との手紙が機となり、以降「九頭竜川クリーン作戦」を毎年実施

している。

## (2) 食文化を伝える

「公民館食堂」との名で、九頭竜川の食文化を地区民に知らせようと、サクラマスやアラレガコ等の料理を作り月1回もてなしている。森田駅の改修が進めば、駅で提供したいと思いを馳せている。

## 5 もりのわフェスタ×文化祭

「人と人をつなぐまち森田」をテーマとし、若人が集う「もりのわフェスタ」(H29～)と、「文化の交流」をテーマとした「森田地区文化祭」を同時開催にし、世代間交流を図った「もりのわフェスタ×文化祭」を令和4年度より開催している。

内容は公民館では作品展示を行い、メイン会場のマイクアでは各団体等のステージ発表、森田地区に関連のある店舗のマルシェ、子供向けイベント等を実施し、多くの住民から好評を得ている。



## 6 特徴的な教育事業

### (1) 森田DEモルック

「森田の宝、九頭竜河川敷」の活用と「世代間交流」を目的に、モルック大会の開催や運営スタッフの育成を令和4年度から実施している。

大会には多くの方の参加を得ている。



## (2) モリタSDGsプロジェクト

森田地区民がSDGsを意識して生活できるようになることを目的として取り組んだ事業である。

令和3年度は、中学生に森田地区でできるSDGsについて提案してもらい、広報誌やホームページ、リーフレット等で発信した。

令和4年度は、中学生の提案について地区民とワークショップを3回行い、その結果をリーフレットにまとめ発行した。

令和5年度は、提案された森田で出来るプロジェクトの中から、クリーンピック(町中清掃活動)の実施とデイサービスでの出前講座をして、今後のSDGsへの意識を高める活動を行った。



## (3) 森田の魅力探検隊

森田地区の新住民をターゲットに、令和4年度から地域愛を育むことを目的とし実施した。1年目は、史跡、遺跡の紹介をして知らなかった森田の魅力を発見してもらった。2年目は、地域巡回バス「もりたんバス」に乗って、町並み(店舗、史跡、遺跡)を紹介した。

## (4) 市民ICT事業(スマホ活用塾)

高齢者がスマートフォンを通して、人と人がつながるLINEやアプリを学び、地域との絆を深めることを目的にスマホ教室や相談会を実施している。

## 5 終わりに

公民館では、森田地区に誇りを持ち『森田に住んで良かった、これからも住み続けたい』と思う人を増やし、地元民と新住民との融和を図ろうとの活動が少しずつ実を結びつつある。今後も、将来ビジョンを実行に移すことで、活動を理解するための指針になり、ひいては公民館の応援者がますます増えていくことを願っている。